

団体名		公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団						
事業	① 指標名	お客様満足度の向上			目標値	体育施設事業の参加者の平均満足度及びプレイスマニタリング総合満足度ともに87%以上	実績値	①体育施設事業92.6% ②プレイスマニタリング91.8%
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位: %)	体育施設事業90.8% プレイスマニタリング86.8%	体育施設事業93.0% プレイスマニタリング92.9%	体育施設事業92.4% プレイスマニタリング93.4%				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 体育施設ではスポーツ教室・イベントすべてにおいてアンケートを実施している。「満足度」だけではなく「初参加者の割合」「出席率」「応募倍率」「身体・生活に良好な変化があった人の割合」「交流の広がりがあった人の割合」「活動の継続を希望する人の割合」「参加者の負担率」「非営利組織による同様事業の実施状況」「営利団体による同様事業の実施状況」「情報取得源」など多岐にわたる観点から事業評価を行い得点化して事業の見直しを常に実施している。プレイスマニタリングでも同様の分析を行い高い評価を得ているが、事業参加者以外の来館者の声を重視してモニタリングの総合満足度を目標値としている。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 体育施設事業の参加者はここ数年安定して9割以上の満足度を得ている。年々、施設の老朽化によるハード面での不満の声は多くなっているものの、ソフト面としての事業のアンケートでは高い満足度を得ている。プレイスマニタリングにおいてもモニタリングで9割前後の満足度を得ており、29年度の利用者も昨年度に続き利用者195万人を記録している。						
二次評価	体育施設事業の参加者の平均満足度及びプレイスマニタリング総合満足度のいずれも、高い満足度を数年にわたり維持し続けていることを高く評価する。 体育施設事業については、今後も施設老朽化により利用者ニーズに応えられない場合が考えられるが、引き続き事業の内容を充実させることで、満足度を維持できるよう努めていただきたい。武蔵野プレイスマニタリングは、連日多数の来館者が訪れる施設であるため、事故や利用者間でのトラブル等への対応にも注力しつつ、引き続き利用者の満足度を維持できるよう努めていただきたい。							
財務	② 指標名	自主財源の確保			目標値	参加料収入等 44,000千円	実績値	44,102千円 (34,015千円)
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位: 千円)	43,076千円 (34,526千円)	44,534千円 (34,005千円)	45,836千円 (34,924千円)				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 自主財源は「基本財産受取利息」+「参加料」+「業務委託収益(収益事業)」である。(カッコ内の数値は参加料のみ)基本財産は預金だけでなく安全性を第一に運用しており、参加料についてもアンケートをもとに適正な金額を設定している。29年上半期度は工事のため、総合体育館のメインとサブのアリーナが使用できなかったが、コミセンや学校等外部の施設を使用してスポーツ教室を開催するなどにより対応した。業務委託収益については、新たな収益事業を検討する。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 自主財源の確保は、単に剰余金を貯めこむのではなく、安定的な事業運営や事業団の抱える諸課題や利用者の利便性向上のためにも必須である。中長期的には使途目的を明確にしたうえで財政計画を策定するなど自主財源の確保に向けて市の理解を求めている。						
二次評価	総合体育館の工事の影響もあり、参加料及び自主財源ともに昨年度を下回っているが、その中でも目標値を達成していることは評価できる。 今後は既存の事業だけでなく、新たな利用者の確保を視野にいれた収益事業を検討いただき、事業団の経営安定化に努めていただきたい。							
内部	③ 指標名	コンプライアンスの強化			目標値	ハラスメント規程の整備	実績値	規程整備済み
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位:)	①中期計画の策定 ②嘱託職員規程整備	①規程の点検見直し ②全職員対象の研修	①人材育成計画の策定 ②職員行動指針の策定				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 「公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団ハラスメント等の防止に関する規程」を策定し、平成29年11月から施行した。施行に合わせて職員4名をハラスメント等相談員に任命し体制を整えた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 「人材育成方針」に記載されているとおり、ハラスメントは職員のモチベーションの低下やメンタルヘルス不調の増加を引き起こす原因となるため、職場環境の改善を進め、ハラスメント等が起きない職場づくりを行っていくとともに、コンプライアンスの確保・強化のため必要な職員への指導・研修を行って行く。						
二次評価	職員のモチベーションの維持向上は、施設運営にあたって非常に重要な要素であり、ハラスメントの防止は職場環境の改善に寄与するものであり、ハラスメントの防止規程の策定は大変評価できる。今後は本規定の職員への周知・徹底をはじめ、ハラスメント等相談員への研修および支援を実施することで、ハラスメント防止への取組みを充実させていきたい。							